

大阪府内における風しんの発生状況について（第1報）

風しん全数把握発生動向調査より（2019年3月17日のデータに基づく）

（報告数はデータ更新に伴い今後変わる可能性があります。この報告は今後随時更新する予定です）

概要

風しんは、潜伏期間は2-3週間（平均16-18日）で、発熱、発しん、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発しん症である。感染経路は主として上気道粘膜より排泄されるウイルスによる飛沫感染であり、1人の患者から5-7人に感染伝播する。

妊婦（妊娠20週頃まで）が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の障害をもつ可能性がある（先天性風しん症候群）。

感染の予防には、2回の風しん含有ワクチン接種が有効である。特に、妊娠する可能性のある女性、妊婦や妊婦の家族と接触する可能性がある方、風しん含有ワクチンの定期接種が行われていなかった世代などに当たる30~50歳代男性について、風しんの感染拡大や先天性風しん症候群の発生を防ぐため、抗体検査のうえ、ワクチン接種が勧められている。

発生動向

大阪府では2018年後半から風しんの報告が増加しており、2019年に入りさらに増加している。2018年は合計120例の報告があった。2019年は第1週~11週まで計87例の報告があった（2019年3月17日現在）。性別は男性59（68%）、年齢中央値は33歳（範囲：0~60歳）であり、患者の多くは20~40代の男性であった。ワクチン接種歴別にみると、接種歴なし22例、1回8例、2回2例、不明55例であり、88%の患者が予防接種歴なし、または不明であった。風しんの発症を防止するには、ワクチン接種が有効である。

風しんに関する情報の詳細は <http://www.iph.pref.osaka.jp/kansen/zbs/zfs.html>

1. 大阪府風しん患者の報告状況（2019年第1週~第11週、3月17日現在）

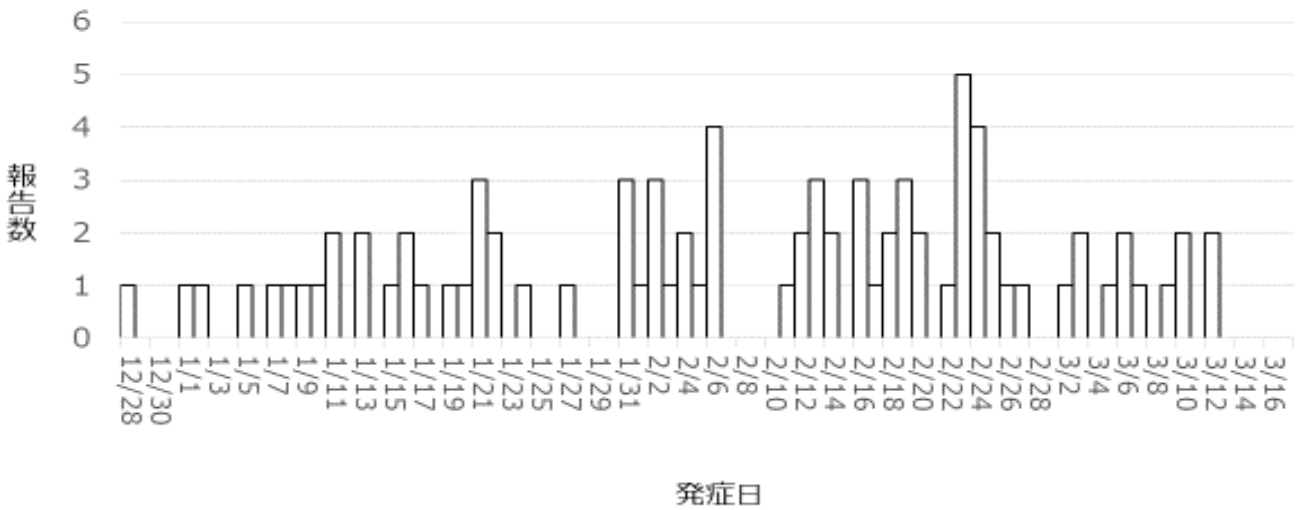
総数	87例
性別	
男性	55例(43%)
女性	27例(57%)
年齢	
中央値	33歳
最大	60歳
最小	0歳
ワクチン接種歴	
なし	21例(26%)
1回	8例(21%)

2回	2例(20%)
不明	51例(33%)

現在の風しんの感染拡大を防止するためには、30～50歳代の男性に蓄積した感受性者を早急に減少させる必要がある。このため、厚生労働省は2019年～2021年度末の約3年間にかけて、これまで風しんの定期接種を受ける機会がなかった1962（昭和37）年4月2日～1979（昭和54）年4月1日生まれ男性を対象に、風しんの抗体検査を前置した上で、定期接種を行うことを発表した。

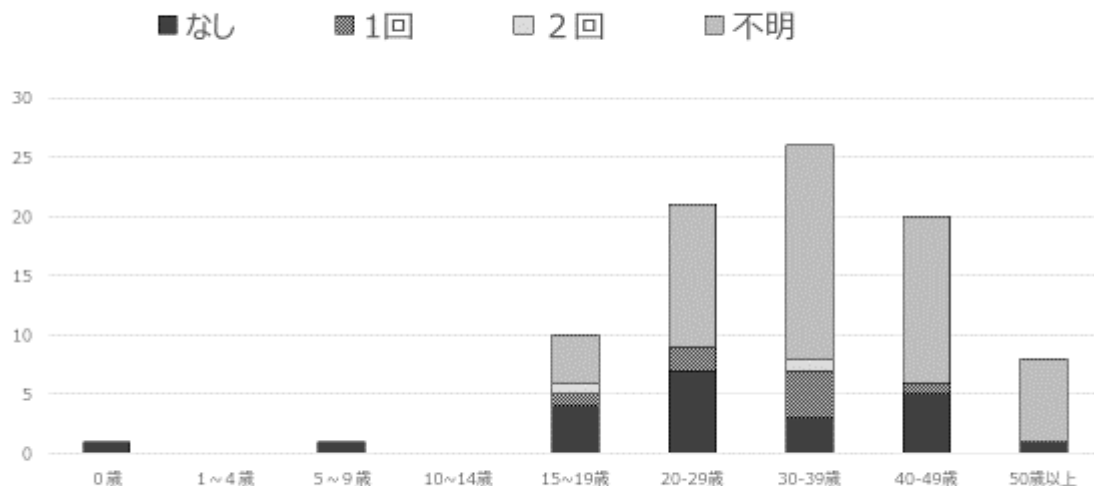
2. 大阪府内保健所別風しん発症日の報告数

（2019年第1週～11週までの風しん報告87例のうち発症日記載のあるもの85例。発症日にもとづく。3月17日現在）



発症日	池田	吹田	茨木	寝屋川	守口	四條畷	藤井寺	富田林	和泉	岸和田	泉佐野	大阪市	堺市	豊中市	高槻市	枚方市	東大阪市	八尾市	総計
12/24-12/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
12/31-1/6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
1/7-1/13	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	8
1/14-1/20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	6
1/21-1/27	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	7
1/28-2/3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	1	0	8
2/4-2/10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	7
2/11-2/17	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7	0	0	1	0	1	0	12
2/18-2/24	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	1	2	0	17
2/25-3/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	7
3/4-3/10	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	7
3/11-3/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
総計	5	6	0	1	0	3	4	2	1	0	0	48	5	0	2	3	5	0	85

3. 大阪府年齢群別・ワクチン接種歴別風しん報告数 (87例, 2019年第1週～第11週, 3月17日現在)



参考：風しんや先天性風しん症候群の年次別発生状況

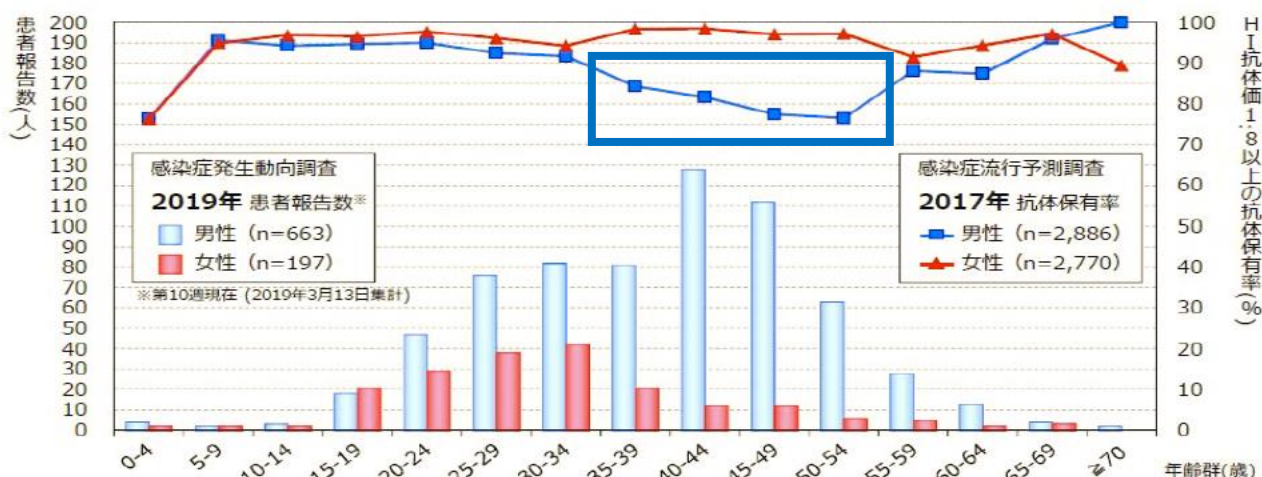
	風しん							
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019*
全国	2,386	14,344	319	163	126	93	2,917	860
大阪府	408	3,192	18	10	13	10	120	87

	先天性風しん症候群							
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019*
全国	4	32	9	0	0	0	0	1
大阪府	0	5	1	0	0	0	0	0

2019*：全国は2019年10週（3月10日）、大阪府は11週まで（3月17日）の累計
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/700-idsc/2131-rubella-doko.html>

男女・年齢別風しん患者報告数と抗体保有率

図15 男女別年齢群別風疹患者報告数（2019年第1～10週）、風疹HI抗体保有率（2017年）



<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2019/rubella190313.pdf>

風しん含有ワクチン定期予防接種制度と年齢

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係
(平成31(2019)年3月1日時点)



<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2019/rubella190313.pdf>